



# 楓の誉

R7.11.12(第9号)

文責：高田 幸伸

## 秋祭りに参加しました。

### 黒石原自治会秋祭り

十月二十六日(日)、黒石原自治会の秋祭りに、本校の吹奏楽部、そして物品販売やワークショップのボランティア、さらにわくわく油田プロジェクトのお知らせと廃油回収で参加させていただきました。

開会式では、吹奏楽部のファンファーレの後、参加されている地域の皆様と一体となる演奏で、会場を盛り上げました。



吹奏楽部の演奏の様子 ↑

そのあと、地域の様々な団体のステージ発表や各ブースでの催しなどが行われ、地域住民の方や本校の小学生・中学生も数多く参加しており、コミュニティとしてのつながりを強く感じた時間でした。今後も地域の活動に積極的に参加していきたいと思っています。

本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、地域の催しに参加させていただきました区長様をはじめ関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

## く ビーズづくりの様子 ↓



本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、地域の催しに参加させていただきました区長様をはじめ関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

## 芸術鑑賞をしました。

### 太鼓芸能集団「紬衣」

十月二十八日(火)、芸術鑑賞として一・二年生を対象に太鼓芸能集団「紬衣(ゆい)」の公演を聞きました。紬衣は、宇土市を拠点として「太鼓で人と人の魂をつなぐ」を理念に掲げ、伝統を重んじつつも常に新しい表現を追求している団体です。

午後からの公演予定でしたが、急遽昼休みの「路上ライブ」から幕が開け、小学生、中学生、職員も一緒に大盛り上がり、の時間となりました。午後からの公演では、様々な太鼓をはじめとする和楽器の演奏を聴き、その迫力と調和に圧倒されました。途中には、楽器の体験などもありその魅力を十二分に味わうことができました。

さらにメンバーお二人が現在の活動への思いや自らの人生を語られ、人生や夢について考える時間となりました。生徒の感想文を紹介します。



公演の様子 ↑

和太鼓生演奏を初めて聞いて、和太鼓の迫力のすごさや力強さがとても伝わってきました。太鼓の種類やたたき方を知ることができたり、三曲くらい演奏してもらった後のアンコールにまで答えてくれたりして本当に貴重な体験をすることができました。使われていた楽器一つ一つの音の重なりがとてもきれいで、バランスが取れていて改めて楽器のすごさを感じました。紬衣さんのみなさんは、自分らしさを大切にしているの聞いて「自分らしさって何だろう。」と考えたり「自分の今の夢は何なのか。」と考えさせられたりする時間

にもなりました。夢を追いかける努力と夢に向かって歩んでいく素晴らしさ、自分のありのままで生きることの大切さを今回学んだので、これからの生活で意識してみたいし、進路選択にも生かしていきたいです。

紬衣の皆様には、心を揺さぶる熱い演奏と語りをありがとうございました。

## PTA主催

### 菊池恵楓園フィールドワーク

来る十一月二十二日(土)、本校PTA人権委員会主催で、菊池恵楓園資料館の見学とフィールドワークを実施します。

昨年度は、保護者、生徒、職員を合わせて約十名ほどの参加がありました。

私自身は、菊池恵楓園の資料館見学やフィールドワーク、納涼盆踊り等の企画に参加するたびに、発見したり、新たな学びになったりすることがあります。



昨年度の様子 ↑

また、三年生が聞き取りに行ったり、フィールドワークしたりする折に同行しながら、入所者の方たちの人としての生き方に感銘を受けました。厳しい状況にあっても展望や希望を見つけないで、しなやかに生きておられる姿です。

本フィールドワークについて安全・安心メイト等で再度お知らせしています。同日は、朝九時に集合となっています。どうぞよろしくお願いいたします。

※学交生舌の兼子や兼子な青取ま、本校HPに随時、掲載しています。



学校HPの  
QRコード